

文学館だより

平成29年 6月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 貴 日 高

きた み な つ き
寄り来りうすれて消ゆる水無月の雲たえまなし富士の山辺に
「山 桜 の 歌」 収録

鑑 賞

大正11年6月、富士山の南の麓の大野原を訪れた時の作である。牧水は富士山を眺めることを楽しみとした。自宅からは愛鷹山（あしたかやま）が前にあって富士山を眺めることができないので、裾野をよく歩いたのである。水無月すなわち6月なので雲は多かったろうが、雲もまるで富士山が好きで近づいていくみたいに思えるところが面白い。（伊藤一彦著『命の碎片』より）

わか顕彰会「宮崎県地域づくり大賞」に輝く

— 団体受賞は21年ぶり2団体目 —

現日向市東郷町若山牧水顕彰会は昭和26年に創設、今年で66年目を迎えます。これまでの顕彰活動を評価いただき、この度『宮崎県地域づくり大賞』を受賞いたしました。

賞の目的

地域振興に対し特に功績のあった個人や団体を顕彰して、地域づくりの推進に貢献する。

授賞理由

幅広い世代や地域を巻き込み、歌人若山牧水の文化的価値や人間的魅力をあらゆる手法で発信し、牧水顕彰の取組を長年に渡って地道に継続することにより、地域の誇りの醸成や人づくり・地域づくりに多大なる貢献をした功績

表彰式

平成29年5月9日（火） 県庁にて

出席者

日向市東郷町若山牧水顕彰会会長
日向市文化生涯学習課若山牧水係
日向市東郷町若山牧水顕彰会事務局長

那須 文美
星野真由美
黒木 孝利



日向市東郷町若山牧水顕彰会紹介展示

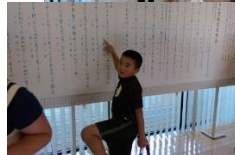


タ刊デイリー 5月10日

つぼやっ子、生家清掃に汗を流す

そして、文学館へ 牧水母校作品展見学

もう何年続いているのでしょうか。今年も5月11日（水）坪谷小学校児童と先生方が一緒に汗を流し牧水生家清掃をしてくださいました。現在、生家裏法面工事中のため、安全を期して庭の草取りをしてくださいました。夏日を思わせる暑い日差しの中無言で黙々と草を抜く姿にはただただ感動でした。

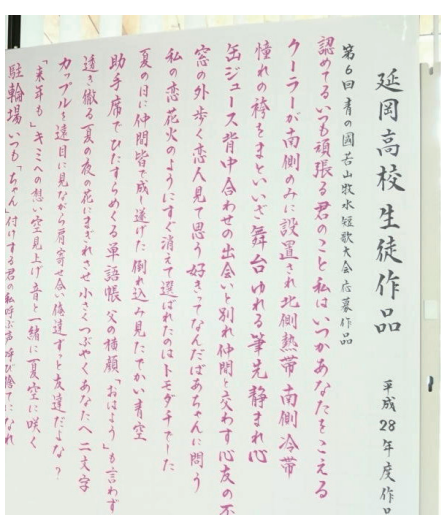
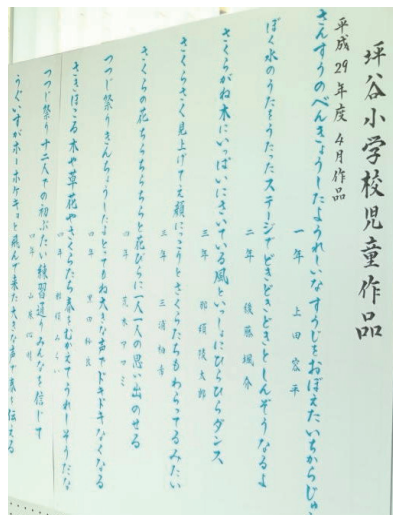
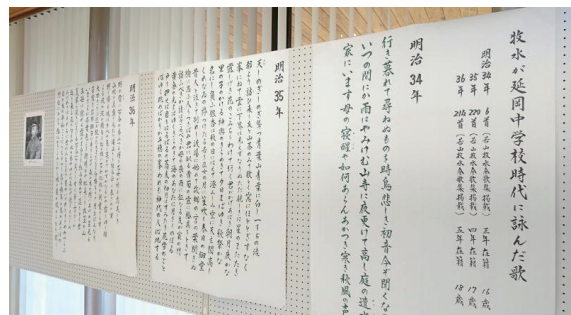
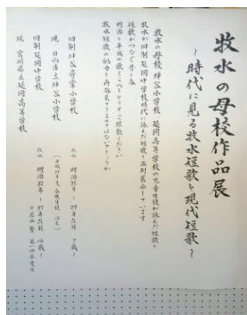
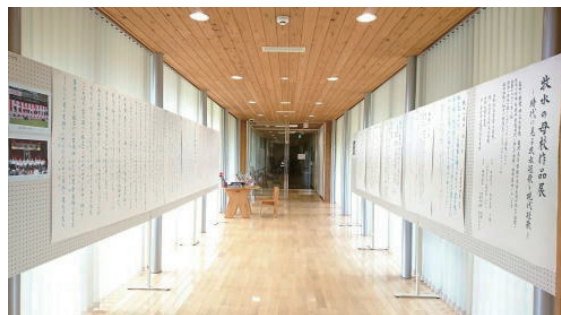


終了後、現在開催中の牧水母校作品展を見に文学館まで来てくれました。自分の短歌を見つけ、うれしかったり恥ずかしかったり。隣に並ぶ延岡高校のお兄さんお姉さんの短歌に見入り、何を感じ、何を思ったのでしょうか。思い思いの姿にこちらまで興味が沸き立てられました。

あいさつの後、文学館をあとにしたみんなは牧水公園へ。牧水先生の歌、文学館まではっきり届きましたよ。坪谷小学校の皆さん、ありがとうございました。

牧水母校作品展終了

ありがとうございました



手づくり作品展第2弾

牧水母校作品展終了いたしました。牧水先生の味わい深い字には及びませんが、心を込めて書かせていただきました。

文学館での展示は終了しましたが、小学生高校生の作品を多くの皆さんに見ていただきたいと思っています。

今後日向市駅、公民館、店舗等々移動展示を計画します。

うちで展示するよ！

あそこはどんげね！

というお声をお聞かせください。

かくれたる徳を行ひ頭れぬ人は深山の桜なりけり 牧水 (旧制延岡中学3年 16歳)

つつじ祭りきんちょうしたよとつてもね大きな声でドキドキなくなる 黒田紗良(坪小4年)

午後六時バス待つ君の降り立つ篠突く雨と止まない鼓動 三橋 綾佳(延岡高校3年)

今回、作品提供いただきました日向市立坪谷小学校さま、宮崎県立延岡高等学校さまご協力ありがとうございました。

企画展のお知らせ

『牧水の青 — 文学における色彩表現あるいは日本人の色概念』と題し、牧水が詠んだ青（あを、蒼・・・）を紹介するとともに、現代歌人が詠んだ「青」から古典文学に見られる「青」と幅広く取り扱い、展示いたします。

今月13日（火）から8月27日（日）まで開催しております。

ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、ご来館お待ちしております。